



今できること  
プロジェクト  
2023-2024  
再生と伝承

仙台市立南光台中学校→名取市関上

震災伝承新聞完成レポート①

# 中学生がつなぐ記憶と教訓

宮城県内3校の中学生が新聞記者となって被災地で取材を行い、その成果を河北新報別刷紙面「震災伝承新聞」として2月11日に発行。仙台市立南光台中学校では、記事を製作した10人による校内発表会が行われました。

中学生に  
託す伝承の  
バトン

交換した中学生記者は「災害に備えて必要なものを入れる防災ボトルの中身は人によって違う。それぞれのオリジナルを考えることが大切」と発表。各教室の生徒たちはみな真剣な表情で聞き入っていました。



スライドを交えながら取材の報告を行う中学生記者

震災伝承新聞発行後の2月21日、オンライン形式による発表会を開催。中学生記者たちの報告を全校生徒が各教室で聞きました。長沼さんの話をまとめたチームは「関上は過去の被災経験が教訓として生かされず、『関上には津波が来ない』という誤った伝わり方が結果的に被害を大きくしてしまった」と、伝承の難しさと大切さを伝えました。若草寿司の比佐さんに取材した班は「以前のような活気あるまちになってほしい」と願う熱意が印象的だったと話しました。TASKIメンバーと防災ボトル作りにも挑戦しました。

取材で得た学びの成果を共有



中学生たちが作り上げた「震災伝承新聞」は、こちらからご覧いただけます。



「震災伝承新聞」は、宮城県内186の中学校へ配布したほか、愛媛県今治市の近見中学校と兵庫県西宮市の浜脇中学校などで教材として活用されました。東北各地の震災伝承施設、宮城県外の災害に関する研究を行う大学や団体、東京都・池袋「宮城ふるさとプラザ」、宮城県大阪事務所などでも配布しています。

震災伝承新聞の送付をご希望の学校、団体、施設等は事務局までお問い合わせください。  
【お問い合わせ】今できることプロジェクト事務局（河北新報社営業部） tel 022-211-1318（平日10:00～17:00）

今回参加した中学生記者全員の「声」を今できることプロジェクトホームページに掲載しています。

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。 | [www.kahoku.co.jp/imadeki/](http://www.kahoku.co.jp/imadeki/) 河北 今できること 検索 facebookページもあります。

私たち賛同企業も、再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI/アサヒビル 東北統括本部/石巻市震災遺構構内小学校・大川小学校/岩手日日新聞社/NTTデータ東北/キリンビール 東北統括本部/ケースデンキグループ・デンコードー/劇団四季/光輝ビルテクノス/神戸製鋼所東北支店/サッポロビール/サントリー 東北営業本部/JTB 仙台支店/住友不動産 東北事業所/生命保険協会 宮城県協会/仙台環境開発/DICグラフィックス/伝承千年の宿 佐勤/東伸環境/日本製紙/日本製紙クレシア/日本損害保険協会/日本郵便 東北支社/野村不動産 仙台支店/東日本石油工業/平松剛法律事務所/藤崎/富士フィルムグラフィックソリューションズ/みちのく企業グループ/三井住友海上/三井不動産/三菱地所グループ/三菱重工機械システム/宮城県建設業協会/宮城県自動車整備振興会/宮城交通/みやぎ生協/明治安田生命 仙台支社/リコージャパン 宮城支社/河北新報社（順不同）  
◎後援/宮城県、福島県、仙台市、石巻市、塩竈市、多賀城市、名取市、大熊町、富岡町、宮城県市長会、宮城県町村会、宮城県教育委員会、仙台市教育委員会

## 震災の悲劇と教訓伝える

### 750人が犠牲の名取・関上

「お客さんのため」店再興  
名取・関上の寿司店主 比佐さん  
活気あるまちへ意欲

## 南光台新聞

町内会長 長沼さん 「ここは安全」過信

## 「学生が記憶つなぐ」

尚綱学院大生ら伝承活動

聞いて！ 知って！ 同世代へのメッセージ

<p>驚くほかに貴重な時間</p> <p>五日市 義典 1年</p> <p>震災を経験した自分には、3月11日の記憶が今でも鮮明に残っています。あの日の記憶を伝えることが、自分自身にとっても大切なことだと感じています。また、被災地の方々の現状を知ることが、自分自身の成長にもつながっています。</p>	<p>震災よりやく自分ごと</p> <p>藤枝 愛華 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>次世代伝承こそが使命</p> <p>大内 健太郎 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>伝える大切さを学んだ</p> <p>神尾 ひかる 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>「復興」に終わりはない</p> <p>上村 真樹 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>
<p>津波の被害本当に怖い</p> <p>神 一謙 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>人を思う優しさに感動</p> <p>武田 真帆 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>復興の基盤それぞれ</p> <p>武山 莉穂 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>語り継いで意味考えたい</p> <p>寺原 晴衣 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>	<p>繰り返さない努力大切</p> <p>藤田 浩介 1年</p> <p>震災は、私にとって大きな出来事でした。あの日の記憶が、今でも心に深く刻まれています。自分自身の経験を通して、被災地の方々の苦しみや悲しみを理解することができました。これからも、自分自身の経験を通して、被災地の方々のために何かできることをしたいです。</p>

聞いて！ 知って！ 同世代へのメッセージ